

標識調査から大きな発見

トリたちの首や足にご注目ください。
環わがついていますね。彼らは、そっと捕
えられ、環わをつけられて放たれた、渡りの
調査と研究のためのよき協力者です。

一連の番号や記号、国名を刻印したこの環^わは、標識による調査は、まず、鳥を捕えたとき、その種類、性別、老若、場所、年月日、環境などの記録をとり、登録しておきます。そしてその鳥がどこかで再び捕えられるか、標識が見つかったとき、さきの記録と照らし合わせることによって、さまざまな事実がわかる仕組みです。

日・日・日、日豪など、各国の間で結ばれた「渡り鳥条約」では、それぞれの専門家が分布や移動について、学問上の討議をするのが、いちばん重要なのがこの「標識調査」報告です。トリたちの渡りのルート・繁殖地・越冬地がはっきりするだけでなく、年齢・寿命・年齢による羽色の変化、生態に関することなど、大きな成果があがっています。

日本の標調査は戦前から行われていました。昭和46年、環境庁の発足以降、調査の規模も少しずつ大きくなり、昨年は全国50カ所のステーションで約200種、6万羽あまりの鳥に標識をし、放鳥しています。それでも、アメリカとカナダ両国の年間100万羽以上という規模にくらべると、残念ながらまだまだケタ違いであることを認めざるを得ません。

さて、標識は、足の太さ、体重などによってその大きさや重さ

の足環は14種のサイズがあり、小さいもので高さ5ミリ、重さ0.055グラムのアルミ製ツバメやヒガラ、エナガンなどから、大きいもので高さ13ミリ、重さ10グラム半ほどのモネルニッケルと銅の合金製ハチウウ、ウミウイヌワシなど、までさまざま

です——これから秋の渡りの季節、小さなトリたちの標識はなかなか見つけにくいかも知れませんが、オオハクチョウや、カモ類などの水辺の大きなものならば、双眼鏡で見つかる可能性があります。小さな番号から彼らがどこからやって

きたのか、どこを通ってきたのかなど、新しい事実の発見につながります。あな
たも、標識の鳥を保護したり、ひろったり
したときは、見つけた場所、年月日、発見
者名とともに、ぜひ左記へお知らせを。

〒150 東京都渋谷区南平台8の20

山階鳥類研究所 標識研究室

電話(東京03) 463・0410



ヒトの脳は「ト」の反響区、を

財団法人 日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社

●この広告は、財団法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サントリー株式会社がシリーズとして制作しています。

トリたちの移動証明



オオハクチョウ(ガンカ科)

全長約140cm、つばさをひろげると2m以上にもなる。
[国家の鳥のうち最大のものの一つ]

冬鳥としてシベリア地方から渡来します。

首の根にハクチョウと雄雌に開発される合成樹脂製の色のついでと遠くからでもよくわかります(もちろん足もありません)。

いまでも知れわたる渡りの経路と。

国際的な取り組みにより、日本では緑色で、ソ連では赤色をつけています。

あなただけの群れの中に、こんな首根をもつハクチョウを見つけたことはありませんか。

ツグミ(ヒタキ科)
全長24cm。クリーム色の眉線、
胸や腹の黒い点、つばさの紫色が特徴。冬鳥。
足環は高さ5.5mm、重さ0.15gのアルミ製。
同じ足環をつける鳥は
ホズ ソリハシシギ タカアシギなど。

アオジ(ホオジロ科)の♀
全長16cm、スズメほどの大きさ。
冬期は平地へおりて
うす暗い林に棲み、
地上でえさをとります。

●おわけします

《美しい自然シリーズ》パンフレット、3冊までそろっています。

- ①庭に小鳥を…庭先に野鳥を招く楽しさをやさしく解説
- ②野鳥を見に…野鳥観察、探鳥会のおともに最適
- ③自然の中で…自然界のしくみ、鳥との関わりをマンガを中心に、以上、各誌とも1冊送料込300円で。ご希望の方は代金を切手で誌名をご明記のうえ、下記までお申込みください。

〒103-91 東京都日本橋局区内私書箱231号
サントリー株式会社 愛鳥キャンペーン係

トリからのメッセージ ⑦⑤